

社会資本総合整備計画

豊洲地区都市再生整備計画

平成26年11月21日

東京都江東区

社会資本総合整備計画（都市再生整備計画事業）

平成26年11月21日

計画の名称	1 豊洲地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成24年度 ～ 平成27年度（4年間）	交付対象	東京都江東区
計画の目標			

- 大目標 水とみどり豊かな環境が共生した魅力的な複合市街地の形成
 小目標① 文化や交流などの活動が活発におこなわれる、にぎわいのあるまちづくり
 小目標② 多様な人々が安全安心で便利に活動できるまちづくり
 小目標③ 水やみどりなどを生かした、人や環境にやさしいまちづくり

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・豊洲文化センターにおける各種事業実施回数 ・豊洲駅周辺の放置自転車台数 ・東京メトロ有楽町線豊洲駅の1日平均乗降人員数
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 平成22年度	中間目標値 —	最終目標値 平成27年度							
豊洲文化センターにおいて開催された全ての各種事業実施回数	363回/年	—	400回/年							
豊洲駅周辺における放置自転車台数	144台	—	96台							
東京メトロ有楽町線豊洲駅における1日平均乗降人員数	138,876人/日	—	170,000人/日							
全体事業費	合計 (A + B + C)	8,066 百万円	A	8,066 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	0.0%

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A1-1	都市再生	一般	江東区	直接	江東区	豊洲地区都市再生整備計画	A=246ha	江東区						8,066.0	
合計													8,066.0		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計													0.0		

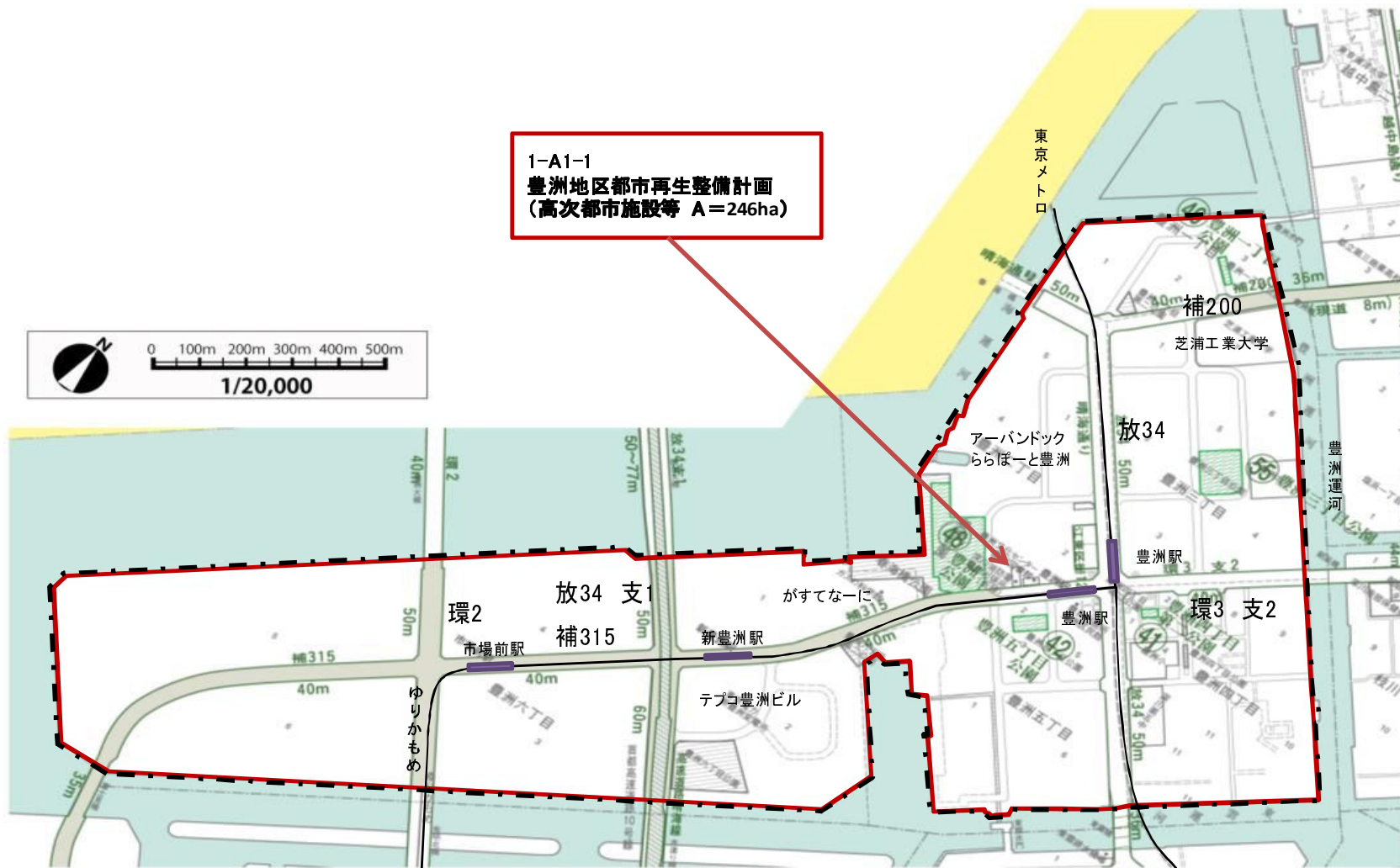
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計													0.0		

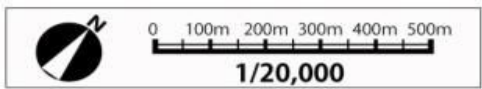
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

(参考図面) 都市再生整備計画事業

計画の名称	1 豊洲地区都市再生整備計画	交付対象	江東区
計画の期間	平成24年度 ~ 平成27年度 (4年間)		



1-A1-1
豊洲地区都市再生整備計画
 (高次都市施設等 A=246ha)



都市再生整備計画事業区域

都市再生整備計画(第1回変更)

豊洲地区

東京都 江東区

平成26年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	とうきょうと 東京都	市町村名	こうとうく 江東区	地区名	とよすちく 豊洲地区	面積	246 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 27 年度				

目標

- 大目標 水とみどり豊かな環境が共生した魅力的な複合市街地の形成
 小目標① 文化や交流などの活動が活発におこなわれる、にぎわいのあるまちづくり
 小目標② 多様な人々が安全安心で便利に活動できるまちづくり
 小目標③ 水やみどりなどを生かした、人や環境にやさしいまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・豊洲地区は、昭和60年前後からまちづくりのあり方について継続的に検討されてきていたが、とりわけ近年における道路・鉄道等の都市基盤整備や産業構造の変化により、都市開発のポテンシャルが急速に高まったため、(株)IH造船所跡地を含む豊洲一～三丁目地区を中心とした大規模な土地利用転換や新たな土地利用が進展している。
- ・平成14年には都市再生緊急整備地域に指定され(「東京臨海地域」内)、職・住・学・遊の多様な機能が複合した市街地形成による、水辺を生かした東京再生のフロンティアとして期待されている。
- ・江東区都市計画マスタープランにおいても「豊洲都市核」および「市場前地域核」として拠点性を備えた複合市街地の形成が位置づけられ、多様な都市機能の集積と魅力ある都市環境の向上が期待されている。
- ・土地利用転換の進展に伴い、居住・就業・来街人口が急速に増加しており、特に不足する文化・交流、交通・防災に係る安全安心に関する公共公益施設への需要が高まる状況にある。
- ・今後、大規模な開発が予定されている豊洲埠頭において、「豊洲グリーン・エコアイランド構想」が策定され、最先端の環境技術の導入による低炭素で緑あふれるまちづくり(=「環境先端拠点」)の実現に向けた取り組みが始まっている。

課題

- ・豊洲地区として期待される拠点性の形成に対して、高次な都市機能を集積させていくために、民間活力による新たな土地利用を一層促進することが必要である。
- ・地区内に急増する人々によって求められる都市生活の豊かさを実現し、まちへの愛着を醸成していくために、文化・交流の場を充実させていくことが必要である。
- ・交通結節点である豊洲駅周辺においては、居住者・就業者・来街者など多様な人々が集まる場として、安全性の確保・向上や災害に強いまちづくりに取り組んでいくことが必要である。
- ・地区内の人々による快適で魅力的な活動を促進していくために、人にやさしいまちづくりに取り組んでいくことが必要である。
- ・豊洲地区全体として水とみどり豊かなまちづくりを具体化していくために、豊洲埠頭における環境先端拠点の形成を進めていくことが必要である。

将来ビジョン(中長期)

- ・職・住・遊などの複合機能を生かして、多様な人々が生活・交流しながら新たな歴史を刻むまちづくりを進める。
- ・江東区南部地区の拠点である豊洲都市核の育成・整備を進めるとともに、環境に配慮した市街地の形成や回遊性の向上等による未来都市づくりを推進する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
豊洲文化センターにおける各種事業実施回数	回/年	豊洲文化センターにおいて開催された全ての各種事業実施回数	豊洲文化センターを整備することによる、各種事業実施回数の増加	363回/年	平成22年度	400回/年	平成27年度
豊洲駅周辺の放置自転車台数	台	豊洲駅周辺における放置自転車台数	大規模開発に伴う自転車の乗入れ台数の増加に対応し、自転車駐車を整備することによる、放置自転車台数の減少	144台	平成22年度	96台	平成27年度
東京メトロ有楽町線豊洲駅の1日平均乗降人員数	人/日	東京メトロ有楽町線豊洲駅における1日平均乗降人員数	多くの人が住み、働き、訪れるまちとして発展することによる、豊洲駅の乗降人員の増加	138,876人/日	平成22年度	170,000人/日	平成27年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1(にぎわいの増進に向けて文化・交流機能の充実を図る)</p> <p>急増する居住者・就業者・来街者によるにぎわいの増進を目指し、既存施設の機能及び規模を拡大した新たな文化センターと区立図書館の整備を行う。</p> <p>豊洲ならではの水辺の交流活動が楽しめるよう、魅力ある散策・回遊空間の拡充整備を行う。</p>	<p>【基幹事業】</p> <p>高質空間形成施設:豊洲五丁目新防潮堤照明施設整備 高次都市施設:文化センターの整備</p> <p>【提案事業】</p> <p>地域創造支援事業:区立図書館の整備 地域創造支援事業:豊洲運河潮風の散歩道整備</p>
<p>・整備方針2(安全安心の確保に向けて交通・防災面での機能を強化する)</p> <p>地区において増加が見込まれる歩行者の、安全で利便な通行や緊急時における避難空間の確保に向けて、豊洲駅周辺に自転車駐車場の拡充整備を行う。</p> <p>安全安心に活動できるまちづくりに向けて、一部区道の整備(改良)を行うとともに、住民や帰宅困難者等に対応する防災倉庫の整備を行う。</p>	<p>【基幹事業】</p> <p>道路:特別区道江257号道路改良 地域生活基盤施設:自転車駐車場整備 地域生活基盤施設:防災倉庫整備</p>
<p>・整備方針3(人や環境へのやさしさを醸成する環境まちづくりに取り組む)</p> <p>豊洲埠頭における環境先端技術の導入や、水やみどりとの共生、低炭素社会への積極的な取り組みにより環境まちづくりを進める。</p> <p>豊洲駅を中心とした周辺地域へのアクセス向上や点在する集客施設への移動手段として、環境にやさしいコミュニティサイクルの導入に向けた検討を進める。</p>	<p>【基幹事業】</p> <p>【提案事業】</p> <p>事業活用調査:コミュニティサイクルの検討・評価 まちづくり活動推進事業:環境まちづくり協議会運営等委託</p>
<p>その他</p>	

とよす ちく どうきょうと こうとう く
豊洲地区（東京都江東区）整備方針概要図

目標	大目標：水とみどり豊かな環境が共生した魅力的な複合市街地の形成	代表的な指標	豊洲文化センターにおける各種事業実施回数（回/年）	363回/年（平成22年度） → 400回/年（平成27年度）
	目標1：文化や交流などの活動が活発におこなわれる、にぎわいのあるまちづくり		豊洲駅周辺の放置自転車台数（台）	144台（平成22年度） → 96台（平成27年度）
	目標2：多様な人々が安全安心で便利に活動できるまちづくり		東京メトロ有楽町線豊洲駅の1日平均乗降人員数（人/日）	138,876人/日（平成22年度） → 170,000人/日（平成27年度）
	目標3：水やみどりなどを生かした、人や環境にやさしいまちづくり			

